

令和4年度庄原市幼保小連携・接続に係る研修会

令和4年8月19日（金）

庄原市立庄原保育所、庄原市立七塚保育所、庄原市田園文化センター

幼児期の保育・教育の特質や内容等について理解を深め、幼児期の保育・教育と小学校教育の円滑な接続を図ることを目的に、研修会を行いました。

【保育参観】庄原市立庄原保育所 保育士 松田 由美, 林 園子, 石井 紀子
庄原市立七塚保育所 保育士 藤野 純恵



庄原保育所では3～5歳児の縦割り保育を参観しました。自分のやりたいことを自ら見付け、友達と協力したり折り合いを付けたりしながら遊ぶ様子が見られました。

七塚保育所では、年長児の保育を参観しました。自分の舟を工夫しながら作ったり、実際に水に浮かべて試したりしながら活動する様子が見られました。



【協議】庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子
【講評】広島県教育委員会乳幼児教育支援センター 指導主事 中川 絵美子
幼児教育アドバイザー 新田 文子, 正畑 万紀子



保育参観を通して見られた、遊びを通した子供の学びや、それを支える保育者の関わりについて協議しました。

講師からは、子供が豊かに遊ぶ環境を整えること、保育者は見守りつつ必要な声かけをすること、小学校では幼児教育を織り交ぜながら教育活動を展開すること等を指導・助言していただきました。

【講話】「未来を創る子どもたち ―幼保小連携・接続の新展開―」

安田女子大学・安田女子短期大学 客員教授 朝倉 淳



時代により、育成を求められる力は変わり、今まさに教育の変革が求められている時であること、豊かな遊びの経験が、後の学びの基盤となること等をお話していただきました。子供自身は本来成長しようとする力を持っていること、遊びの中に学びがあることを理解することができました。

【参加者の振り返りから】

- ・保育所の遊びの中でたくさんの経験をしていること、それが学びにつながっていることが分かりました。生活の中でたくさんの経験や遊びの場を設定したいと思いました。
- ・「遊び」＝「ゲーム」になっている部分が多い今だから、「豊かな遊び」を、子供が学校にいる間だけでも体験させてやらなければならないと思います。
- ・子供達が本来持っている「成長する力」や「成長したい」という思いを大切に、授業づくりを行っていきたいと思いました。